

☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***2023. 3. 15**☆

60 歳からの人生を準備するための
【人生の添乗員 (R)】からのワンポイントメッセージ

目分量で資産形成はできる！？

発行者：牧野 F P 事務所合同会社代表社員 牧野寿和

牧野 F P 事務所公式サイト：<https://www.makino-fp.com>

☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***通算第 537 号***☆

<目次>

- ◆ 今週のテーマ
- ◆ 今週のポイント
- ◆ 編集後記
- ◆ 「人生の添乗員 (R)」牧野寿和のプロフィール

*:**

- ◆ 今週のテーマ

目分量で資産形成はできる！？

*:**

ベテランの料理人は、
食塩、砂糖、酢、しょうゆ、コショウといった
香辛料や調味料を使うとき、

たとえば、料理をしているなべに
食塩を加えるなら、
小さじ一杯何グラムと量ることなく、
指先の感覚で調理していきます。

また、食塩をなべに入れるタイミングで、
出来上がった料理のおいしさも
変わってしまうでしょう。

まさに目分量のマジシャンです。

ところで、感覚だけで、
資産形成はできるのでしょうか？

そこで今回は、
目分量で資産を形成することは可能か、
検証していきます。

この記事の構成は次のとおりです。

- ・ 金融商品は経験と感覚の世界
- ・ お金の貯め方、定期定額と不定期
- ・ 目利きを養う環境
- ・ 目分量で資産は形成できるか

金融商品は経験と感覚の世界

資産を形成していくには、

一攫千金（いっかくせんきん）
宝くじやギャンブルで、
大金を得ることを願うより、

金融商品で運用しながら、
お金を貯め、資産を形成していくのが、
手っ取り早く、確実な方法です。

ただし、この金融商品は、

- ・ 銀行の預金
- ・ 株式
- ・ 債券
- ・ 投資信託
- ・ 保険

といった各種あります。

また、投資した資金（元金：がんぽん）が、
必ず戻ってくるのは、
銀行に預金した1,000万円までと

保障と貯蓄を兼ね備えた、
保険商品の一部だけです。

また、元本が保証されていない株式に、
投資すれば、
その投資をした時期や投資額によって、
損益が変わる可能性もあります。

まさに料理中のなべに、
食塩をどのくらいのタイミングで、
どのくらいの分量をいれるか、

金融商品を料理するのも
経験と感覚の世界といえます。

お金の貯め方、定期定額と不定期

しかし、感覚の世界に到達するためには、
それこそ、時間もそのための資金も、
まさに経験が必要です。

ただ、そこまで研ぎ澄まされた感覚はなくても、
資産を形成していくことは可能です。

その方法のひとつが、
毎月定額にお金を貯めていくことです。

筆者が相談者に、
必要に応じて、貯蓄はどのくらいか聞くと、
年齢にもよりますが、

20, 30代の方で、
数百万円貯めている方の貯める方法は、

ご自身や夫婦で毎月決めた金額を
必ず、積み立てているとのこと。

また、毎月給与口座にお金が残れば、別の積立用口座に移して貯めている方もいます。

どのような方法で貯めるにしても、たとえば、住宅購入の頭金を貯める。

といった目的があります。

貯める目標や金額、期間から、

特に定期的に貯めている方は、その金額を決めているようです。

ただ、資産を形成していくには、

短期間なら、銀行預金でもいいかもしれません。

しかし、長期的な運用となると、元本が保証されていない、金融商品への投資が必要です。

そこで、「つみたてNISA」などで、投資をして資産形成をすることを感覚的に、身に付けていってもいいでしょう。

目利きを養う環境

感覚を養うことは、

その人の生まれ育った環境によって、左右されることもあります。

たとえば、

お金を貯めることに熱心な家庭で、
銀行に定期的に預金をするとします。

預ける銀行の定期の利率が上がれば、
利息も高くなりますが、
低ければ、ほとんど利息は付きません。

しかし、定期的な預金はやめません。

このような家庭で育てば、貯蓄以外も、
様々な数値が、
生活のサイクルに定量的に、
取り入れられているでしょう。

また、株式投資に熱心な家庭があったとします。

A株式の株価が上がったので利益を確定する。
B株式の株価が下がったので損切りする。

まさに、今までの経験で
身に付けた定性的な感覚で、
生活する家庭もあることでしょう。

定量的、定性的それぞれの
いわば目利きに叶う、
資産形成のしかたを
身に付けることが大切です。

目分量で資産は形成できるか

このように考えると、

株式や投資信託といった、
元本が保証されていない金融商品に、
投資をしたことがない家庭で育った方は、

銀行への定期預金を始めるのは、

お年玉を預ける幼少期からかもしれません。

しかし、金融商品に投資をして、
資産形成を始める時期は、

大人になってから、
子ども自身が稼いだ資金で見よう見まねで、
始めることが多いようです。

一方で、
株式投資などを行っている家庭で育った方は、

銀行への定期預金を始めるのは、
お年玉を預ける幼少期からですし、

金融商品に投資をして資産を形成するのは、
親や親類を観ながら、
10代から感覚的に身につけ、
大人に成れば実践し始めるでしょう。

今回のテーマである、
資産を形成するときの「目分量」とは、

資産を形成していく過程で、
定額で投資をするその金額なのか、

ここぞというときには、
ほかの生活費を削っても
投資をするタイミングなのか、

それとも両方なのか、

ここは、
まさに経験がモノをいうところです！

..*.*.*.*.*.*.*.*.*

◆ 今週のポイント

..*.*.*.*.*.*.*.*.*

お金の味を知ってから、
資産形成を

始めてもいいでしょう！

::*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:

◆ 編集後記

::*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:

記事の中にも記述しましたが、

投資は実際にやってみないと

わからないところもあります！

投資を感覚的に身に付けるために、

NISAなどで、

試してみてもいいかもしれませんね！？

*:

◆ 「人生の添乗員 (R)」 牧野寿和のプロフィール

*:

日本で唯一「人生の添乗員 (R)」を名乗れる
公正中立な独立系ファイナンシャルプランナー
創業 20 年目

1958 年 名古屋市生まれ、大学（東海大学卒業）
以外は、名古屋で居住。

1982 年～2001 年 旅行会社に勤務。
業務で世界各地を廻っていた時、
日本の方と他国の方々の
お金との付き合い方の違いを感じていた。

そんな時渡米した折に、
初めてファイナンシャルプランナーの
存在を知り、
日本でもこの業務の必要性を認識する。

2003年 牧野FP事務所を創業。
2018年から牧野FP事務所合同会社を設立。
これまでに、
延べ1100件以上の様々な相談に対応。

相談者へのプランニングの助言と提案を
主な業務とし、
相談者に、安心できる生活が送れるように、
丁寧な業務を心がけている。

<保有資格>

- ・NPO法人日本ファイナンシャルプランナーズ（FP）
協会 CFP（R）認定者
- ・1級ファイナンシャル・プランニング技能士
（資産設計提案業務）
- ・福祉住環境コーディネーター
- ・総合旅行業務取扱管理者 など

<取材協力>

メ〜テレ（名古屋テレビ）「UP！」

<執筆>

「銀行も不動産屋も絶対教えてくれない！
頭金ゼロでムリなく家を買う方法」河出書房新社

<監修>

「空き家」に困ったら最初に読む本」河出書房新社

現在、相談は、名古屋市内はもとより愛知、岐阜、
三重県、首都圏や関西にもリモートで
お会いする機会が増えました。

「人生の添乗員（R）」は、

他人を気にすることなく、相談者ご自身にとって
有益な提案を心がけています。

◆ 【人生の添乗員 (R)】からのワンポイントメッセージ

発行：牧野FP事務所合同会社 代表社員 牧野寿和
〒467-0823 名古屋市瑞穂区津賀田町2-86

◆登録・解除は、ご自身でお願いいたします
こちらから出来ます
<http://www.mag2.com/m/0001575058.html>

◆本メルマガに関するご意見・お問い合わせは
こちらまでお願いいたします
E-MAIL : makino.fp@beach.ocn.ne.jp

牧野FP事務所合同会社
公式サイト : <https://www.makino-fp.com>

◆記事内容に関してのトラブル等について当方では
一切責任を負いかねます
ご自身の責任でご判断下さい

「人生の添乗員」「人生の行程表」は、
牧野寿和の登録商標です
